和歌山印刷所ニュースレター 第72号

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所

■本社

〒640-8412 和歌山市狐島609-9

TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631

■東京営業所

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-7-2 東京堂錦町ビルディング 8 階

TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441

●発行年月日 2024年2月1日

こんにちは!和歌山印刷所、通称「わいん」です。 印刷物を効率よく仕上げるために設備投資を行いました。 今月は、新しく設置した「ミシン機」についての特集です。

■印刷業界のミシン加工

「ミシン加工」というと、いわゆる「裁縫用のミシン」を使う姿を思い浮かべるかもしれません。ですが印刷業界で「ミシン加工」といえば、「紙に切り取り用のミシン目を入れる加工」のことです。わいんでは昨年末に、新たなミシン加工機「VP-66A」を導入しました。



■購入のきっかけ

この機械を購入したきっかけは、弊社の得意先様において、領収証や納品書等、伝票印刷の需要がここ数年で高まってきたことです。「以前注文した印刷会社がやめてしまった」「印刷はできるが製本会社がやめてしまった」「資材高騰に伴い別の仕入れ先を探している」理由は様々ですが、伝票を製造できる会社が求められていました。



需要に応えるためには供給を強化しなければなりません。伝票製造でよく必要とされるミシン加工を補強するべく「VP-66A」を導入しました。

この機械は通常のミシンだけでなく、払込用紙や申込はがきの切り取りによく使われる「ジャンプミシン」にも対応しています。これまでは活版印刷機を用いたジャンプミシン加工だったので、加工効率も向上しました。



●ミシンを入れる刃部分

●導入したミシン加工機「VP-66A」

■伝票以外のミシン加工

ミシン加工は「チケット」「プリンタ用紙」「商品タグ」等でも使われており、総合印刷会社であるわいんには欠かせません。他にも新たにできることが増えた際は、この場を借りて紹介していければと考えています。今後ともご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



毎月わいんからのお知らせをお伝えします!!!

アルショルチェック義務化

2023年12月1日より「アルコールチェッカーによる酒気帯び確認」が義務化されました。 わいんは対象事業所になるため、外出前に全員がアルコールチェックを実施しています。



SNSやってます



メインアカウント









ラベル貼付位置 ご愛読ありがとうございます

印刷業界の難解[あるある]をご紹介!

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。

今日もまた、天然系工場長のもとに新たな 相談が持ち込まれるのであった…。

あるある一段の一般の

事件ファイル47 「少ページ無線綴じ冊子」

営業マン:「工場長、大変です!パンフレットを中綴じ加工しようと したらページ数がおかしいです!このままでは加工できません!!」

工場長:「すぐにそのパンフレットを持ってこい!」

営業マンが、そそくさと現場からパンフレットを持ってきた。

工場長: 「ん?ページ数が10ページになっているな。4 の倍数になっていないから中綴じ加工はできないな。」

営業マン: 「そうなんです、お客様に連絡して2ページ分増やすか減らさないといけないですね。」

工場長:「いや、中綴じ加工にこだわらないのなら、表紙4ページ・本文6ページの無線綴じ加工に変更したら大丈夫だぞ。本文ページが少ない無線綴じ冊子も加工可能だからな!」

営業マン: 「無線綴じといえばページ数が多くないとできないものだと思っていました。」

工場長:「今日は徹夜で作業すれば、なんとか間に合うから、みんなで頑張ろう!」

営業マン: 「とほほ・・・(涙)」

たりかの対策はこれ!

無線綴じは本文用紙を表紙用紙でくるむ必要があるため、基本的にある程度の背表紙の厚さが必要となります。厚さが足りないと、糊が付着する部分が少なくなるため、強度面に問題が出てきます。また、製本糊が固まって安定するまでに時間が必要な場合もあります。

わいんでは、上記のように本文ページが少ない無線綴じ冊子であっても対応可能です。10ページの冊子の場合、中綴じ冊子では4の倍数になるようにメモページなどを追加して2ページ増やし12ページにするか、掲載内容を工夫して8ページにする必要がありますが、その調整は不要です。自社工場で加工が難しかったり、製本会社から加工不可と断られた方はお気軽にご相談ください。

少ページの無線綴じ冊子方法

左記のような6ページの無線綴じの場合、背幅がほとんどないため背部分の糊だけでは強度がありません。そのため本文の最終ページと裏表紙のノド部分に薄く糊を付着させることで強度を高めています。



EnERVIII OF THE PROPERTY OF TH

還暦の向こう側

若林 保宏(常務取締役:61歳)です!

早いもので昨年の初めにサプライズで還暦の御祝をしていただいてから1年が経ちました。

大きな病気もせず厄年は無事終わりましたが、若い頃のように無理は効かなくなってきているように思います。また先日散髪屋さんで少し髪の毛が少なくなってきていると言われました。。。

これからは仕事に追われてバタ バタするのではなく、優先順位を 考え落ち着いて仕事に取り組み たいと思います。



"ゆばむすび"のトリコ

椿原 健太(営業部・東京営業所:29歳)です!

昨年12月に日光観光に行きました。主目的は日光東照宮と足 尾エリア。特に東照宮は「どうする家康」が最終回目前だったこ ともあり盛況でした。足尾銅山や大煙突も見て、歴史を味わう ことができました。ただ、花より団子で一番印象深いのは食べ

物です。なかでも補陀洛(ふだらく)の"ゆばむすび"が非常に好みの味で、すっかり虜になってしまいました。味付け"おこわ"が半生の"ゆば"で包まれており、温かいお茶とともにいただくとホッと一息つけること間違いありません。数量限定なので狙う際はお早めに。



【わいんニュースレター】 アンケート応募はこちら

ニュースレターのご感想などがありましたら 下記のQRコードからご応募ください。

ご応募いただいた方の 中から抽選でクオカード (500円分)をプレゼント いたします。



【わいんチャンネル】 _{和歌山印刷所公式YouTube}

和歌山印刷所公式YouTubeチャンネルでは、これまでの「あるある印刷の事件簿」のAR動画がいつでも見ることができます。

是非チャンネル登録してご覧ください。



わいんチャンネル-和歌山印刷所-@wain-609 チャンネル登録



編集後記

この度は能登半島地震で被災された皆様に心 よりお見舞い申し上げます。

この誌面でも、昨年9月1日号で防災特集をしたことが思い出されます。

この時は「稲むらの火の館」を特集し、地震と 津波の恐ろしさ・教訓を学べる施設として紹介 させていただきました。災害というのは本当に いつ起きるかわからないものです。

家族の団らん中、仕事中、旅行中、睡眠中。それぞれに適した準備を日頃から心がけたいと思います。

(編集長:椿原健太)